

びわ湖の魚の採捕体験

① どのような魚がとれるか予想する。



- 採捕に使用する採捕網『もんどり』の特徴について知る。
- 仕掛ける場所の工夫

② 採捕網を仕掛ける。



- 採捕網『もんどり』を投げ込み、ロープをくくりつける。
- 特別採捕許可を示す、旗を提示する必要があることを知る。

③ 仕掛けた採捕網を引き上げる。



- 採捕網を引き上げる。

④ 魚を水槽・タライ等に入れ、観察する。



- びわ湖学習「魚の観察」と関連付けて実施する。

問題 琵琶湖にはどのような魚がいるのか。

予想 もともといた固有種、外国からやってきた外来魚がいる。

結果 外国から来た外来魚(ブラックバス・ブルーギルなど)がほとんどである。他にカメ、ウナギ、フナ、カムルチーなどが採捕できる。

考察 春・夏は採捕に魚がかかりやすい。冬場になると魚の活動が低下することも関係し、採捕にかかりにくい。外来魚が多く繁殖しているという琵琶湖の現状が考えられる。

つながり 魚の観察学習・食物連鎖・漁業

港別採捕網をしかけるポイント

大津港



琵琶湖大橋港



長浜港



びわ湖の魚の採捕体験（準備から後片付けまで）

準備物

(準備時)

- ・ もんどり
- ・ 特別採捕許可旗
- ・ 練り餌※乗船校

(引き上げ時)

- ・ バケツ、タライ等
- ・ ゴム手袋※乗船校



準備方法

1. もんどりのフックを引っかける。
2. 湖底に異物がないか確認をし、投下する。
3. もんどりのロープを柵や柱に結び付ける。
4. 特別採捕許可旗を掲示する。



片付け方

1. 引き上げ後、網に付着している物があれば、取り除く。
2. 実験室にてかごあみを水洗いする。
3. ロープを縛り、網の中へ片付ける。
4. 3階後部甲板のかごの中へ片付ける。



引き上げるタイミング

○大津港

湖岸WRのスタート時に採捕見学開始。
ゴール後、整列し採捕網を引き上げる。

○長浜港

1日目下船後、船体前方で整列し、採捕開始。
寄港地活動後、船体前方で整列し、引上げる。
※2日目の朝に下船し、引上げ見学も可能。

構造



一度入ると戻れない
ようになっている。

